

ドクゼリ

Cicuta virosa L.
var. *nipponica* (Franch.) Makino

選定理由

県内分布 (耶馬溪地区)

セリ科
Umbelliferae

分布域 北海道 本州 九州(佐賀・熊本・大分)
朝鮮半島 中国(東北部) 欧州 シベリア 極東地方 北米

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

生育環境

現 状 「耶馬溪地区」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。

シラカワボウフウ(カワラボウフウ)

Peucedanum terebinthaceum (Fisch.) Fisch.
var. *deltoidum* (Makino) Makino

選定理由

分布の南限域にあたる。本県の生育地は主として火山性高原に点在し、
個体数は極めて少ない。植林や草原開発などで消滅した生育地があり、
絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 玖珠丘陵地・山地、九重火山群

セリ科
Umbelliferae

分布域 北海道 本州 四国 九州(大分 宮崎 鹿児島)
朝鮮半島 中国(東北部) ウスリー アムール 東シベリア

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

生育環境 丘陵地や低山地の草原や林縁。

現 状 草原開発や植林により、消滅した生育地が多い。

備 考 北方寒冷地要素の植物。九州は、分布の南限域にあたる。

ミツバグサ

Pimpinella diversifolia DC.

選定理由

日本では九州だけに分布する。本県では、火山地帯の草原に生育地は
多いが、植生遷移の進行や草原開発などによる環境変化で、生育地の
消滅が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、別府
湾沿岸域、豊後水道後背地域、大野川上流域、祖母・傾山地

セリ科
Umbelliferae

分布域 九州(福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島)
中国 インド(北部)

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

生育環境 低地から山地の草地や林縁。

現 状 かつて放牧されていた半自然草原が、植林や植生遷移の進行で森林化し、生育状態の衰退した所がみられる。